

新幹線関西地本に職場諸要求を提出！

9月18日、私たち大阪修繕車両所分会は、「2014年度職場諸要求」として、
①労働時間に関して1項目 ②休日等に関して4項目 ③通勤に関して6項目 ④
事務所棟に関して10項目 ⑤操縦担当者に関して7項目 ⑥諸手当に関して5項
目 ⑦その他、設備、職場環境に関して20項目 ⑧食堂に関して5項目、合わせ
て58項目の改善要求を新幹線関西地本に提出しました。

会社は「業務全般にわたる低コスト化のより一層の徹底・効率的な業務体制の構築等に不断に取り組み、経営体力の強化が必要」と考えを主張！

会社は、2014年度協約・協定改定第1回団体交渉で交渉に臨む会社側の基本姿勢について述べていますが、その中で、平成26年度第1四半期の輸送状況は、ビジネス、観光ともにご利用が順調に推移したことから新幹線の輸送人キロが前年同期比で101.8%、在来線の輸送人キロは前年同期比で99.1%となり、また、第1四半期における単体の運輸収入は、前年同期比で2.0%増（58億円増）の2982億円となった。7月以降、一部で大雨や台風の影響があったものの、大きな事故もなく、輸送量は引き続き概ね順調に推移しているが、引き続き安全安定輸送の確保を最優先に、より質の高いサービスの提供を継続することを大前提として、業務全般にわたる低コスト化のより一層の徹底や効率的な業務運営体制の構築等に不断に取り組むことを通じて、経営体力を強化していく必要があることに変わりがない、今後ともこうした取り組みを継続的に行い、中央新幹線計画や名古屋におけるJRゲートタワー計画をはじめとする次世代へ向けた経営課題に対処していくべきであると考えている」と考えを主張しました。つまり、今後も効率化をどんどん行っていくということです。このままでは、安全が損なわれたり、社員の健康が損なわれたり、労働条件の改善どころか改悪すらあり得るのではないのでしょうか。

皆さん！ 安全が損なわれたり、現場で働く社員の健康が損なわれたりしないように、みんなで声を出して、明るく働きやすい職場を創ろうではありませんか。